

市内223～227例目（県内402及び411～414例目）の概要

令和3年5月14日公表

5月13日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに5名の方、市内223～227例目（県内402及び411～414例目）となる感染者が確認されました。

感染者の状況については、別紙「新型コロナウイルス感染症の発生について」をご参照ください。

223例目の方は、5月12日に38度台の発熱、関節痛、倦怠感、鼻水、咳の症状があり、12日に市内の医療機関を受診されました。13日にPCR検査を行った結果、陽性であることが判明したものです。

昨日13日に、感染症対策を講じた県内の医療機関に入院されました。

発症日2日前、5月10日以降の感染可能期間に市内の勤務先に出勤されていますが接客の機会があるような仕事ではなく、聞き取り調査により接触者は把握できています。

発症日2週間前、4月28日以降の調査期間において、県外への移動歴はありませんでした。

224～226例目の方は、220例目の接触者として5月13日にPCR検査を行った結果、陽性であることが判明いたしました。

本日、224例目は咳、痰の症状が、226例目は37度台の発熱、咳の症状がありますが、いずれも軽症とのことです。225例目には症状はありません。

いずれも、昨日は保健所の指導の下に自宅で待機し、本日14日、感染症対策を講じた県内の医療機関に、224例目は入院予定であり、225・226例目は入院されました。

224例目は、発症日2日前、5月7日以降の感染可能期間に市内の勤務先に出勤されており、接客の機会があったことから、勤務先の協力により接触者の把握を進めています。

225例目は、検体採取日2日前、5月11日以降の感染可能期間に市内の勤務先に出勤されています。接客の機会がある仕事ですが、勤務先の協力により接触者は把握できています。

226例目は、発症日2日前、5月10日以降の感染可能期間に市内の勤務先に出勤されていますが、不特定多数の方への接客の機会があるような仕事ではなく、聞き取り調査により接触者は把握できています。

いずれも、発症日2週間前（224例目：4月25日、225例目：4月29日、226例目：4月28日）以降の調査期間において、県外への移動歴はありませんでした。

227例目の方は、集団感染の発生を確認した店舗の利用客として、5月13日にPCR検査を行った結果、陽性であることが判明したものです。

本日、症状はありません。

昨日は保健所の指導の下に自宅で待機し、本日14日に、感染症対策を講じた県内の医療機関に入院される予定です。

発症日2日前、5月10日以降が感染可能期間となりますが、仕事や不特定多数への感染の恐れがあるような行動歴はなく、現在聞き取り調査により接触者は把握できています。

発症日2週間前、4月28日以降の調査期間において、県外への移動歴はありませんでした。

今後も調査結果を踏まえ、必要な検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

市内では、大型連休最終日の5月5日から連日新規感染者が確認されている状況となっています。傾向としては、「人の往来」と「飲食の機会」、「家庭内」が関連するケースが多く見受けられます。

緊急事態宣言地域やまん延防止等重点措置地域との往来は控えるとともに、自治体から不要不急の外出自粛が要請されている地域への往来についても慎重にご判断ください。やむを得ない用事に関わる往来を控えていただく必要はありませんが、往来後の健康観察など体調管理に十分ご留意いただきますようお願い申し上げます。

会食の際には、感染防止対策を徹底された店舗を利用することはもとより、少人数（9人以下）、短時間（1時間30分を限度）、体調不良の時は参加しないなど、感染リスクが高い行動を避け、安心安全に飲食・会食を楽しむための取り組みをお願い申し上げます。

発熱や咳、倦怠感など、わずかでも体調不良を感じたときには、まず仕事や学校を休んでいただく、かかりつけ医に相談・受診する、積極的に検査を受けるなどが、感染拡大の防止につながる大切な行動です。家族が体調不良を訴えた時には、家庭内にあっても、部屋を分ける、マスクをつける、小まめな手洗いや換気、共用部分の消毒などの感染予防策をとるようお願い申し上げます。

新たな変異株は感染しやすくなっています。市民の皆様には、大切な家族や友人を守るためにも、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」の徹底や「三密の回避」をはじめとする「感染しない、させない」ための取り組みの徹底に対しまして、より一層底ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。